

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	情報メディア発展のもとでの新しい地域研究
研究テーマ名	地域社会の災害レジリエンス強化に向けて—SNS とクラウド GIS を用いた共時空間型地域研究
研究代表者	古澤拓郎
所属機関・部局・職	京都大学・大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>本研究は、ICT を用いて地域研究における現地調査の効率化を図り、短時間で多くの情報を入手しうる方法を開発して、災害レジリエンスを強化することを目指している。研究提案書では、「異分野の取り入れ・発展・相互補完」として、防災学やデザイン学との連携が盛り込まれていたが、その成果がどのように結実・公表されているのかが不明であるとともに、研究費の執行に関しても、当初計画からの変更があるものの、今後の地域社会研究に対して、一つの方向性を示すものと評価できる。しかし、研究成果の発表状況をみると、共同研究としての成果が十分にだされたとは言い難い。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い